

K-30 ファームウェアのアップデート方法

準備するもの

フォーマットされた弊社動作確認済の SD メモリーカード

市販の SD メモリーカード / SDHC メモリーカード(以下「SD メモリーカード」と表記)を用意してください。

システム環境を満たしたパソコン

Windows® XP(SP3 以降) / Windows® Vista / Windows® 7 / Windows® 8

Mac OS X 10.4 / 10.5 / 10.6 / 10.7 / 10.8

アップデートする K-30 カメラとバッテリー D-LI109 または AC アダプターキット K-AC128J

バッテリー容量が少ない場合、「電池容量がたりないためアップデートを行えません」と画像モニターに表示されます。

フル充電したバッテリーD-LI109 を使用するか、ACアダプターキット K-AC109J (別売)を使用してください。

USB ケーブル I-USB7 またはメモリーカードリーダー/ライター

リコーイメージングホームページからファームウェアファイルをダウンロードして、次のいずれかの方法でSDメモリーカードに保存するのに使用します。

- ・USB ケーブル I-USB7 でカメラとパソコンを USB 接続して SD メモリーカードにファームウェアファイルを保存する。
- ・メモリーカードリーダー/ライターまたは、SD メモリーカードスロットを使用して、SD メモリーカードにファームウェアファイルを保存する。

【ご注意】

アップデートしたカメラを元のバージョンに戻すことはできません。

アップデート実行中にバッテリーの容量不足などによりカメラの電源が切れた場合、カメラが動作しなくなることがあります。その場合は保証期間内であっても有償修理となりますので、充分にご注意ください。

ファームウェアファイルをダウンロードして SD メモリーカードに保存します(Windows®の場合)

(Windows®自己解凍形式ファイルをダウンロード)

[1] リコーイメージングホームページからファームウェアファイルをダウンロードします。

ダウンロードページ下の Windows®版

「同意してダウンロードする」をクリックします。

「ファイルのダウンロード-セキュリティの警告」が表示されますがそのまま「保存」をクリックしてください。



[2] 「名前をつけて保存」ウインドウが開きますので、パソコン内の任意の場所を指定して「保存」をクリックします。

後の工程で、このファイルを使用しますのでどこに保存したか必ず覚えておいてください。

「ダウンロードの完了」ウインドウが表示したら、「閉じる」をクリックします。

以降デスクトップに保存する場合で説明しています。



[3] 保存したファイルは自己解凍形式ファイルです。

ダウンロードが完了すると右図のような形をしたアイコンのファイルが保存されます。

ダウンロードしたファイルは圧縮ファイルですので解凍が必要です。

このファイルをダブルクリックするとファイルの解凍がはじまります。



「セキュリティの警告」ウインドウが表示することがありますがそのまま「実行」をクリックします。

[4] ダウンロードした圧縮ファイルを解凍する以下のウインドウが開くので「OK」をクリックします。

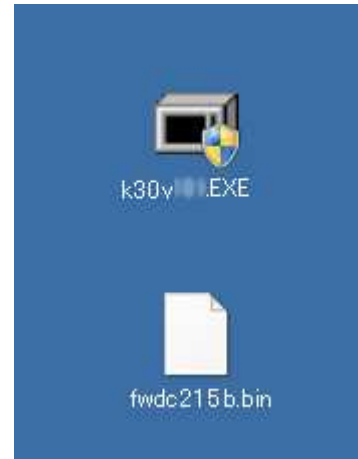
(表示はパソコンによって異なります) 図はデスクトップに解凍する場合です。



プログラム互換性アシスタント「このプログラムは正しくインストールされなかった可能性があります」のメッセージが表示することがありますが「このプログラムは正しくインストールされました」を選択して終了します。

[5] ダウンロードしたファイルをダブルクリックして解凍すると、「fwdc215b.bin」ファームウェアファイルができます。

[6] 次のいずれかの方法でパソコンとカードを接続します。
・SD メモリーカードをカメラに入れて USB ケーブル I-USB7 でパソコンと接続します。
・SD メモリーカードをパソコンの SD メモリーカードスロット、または USB 接続したカードリーダーに入れます。

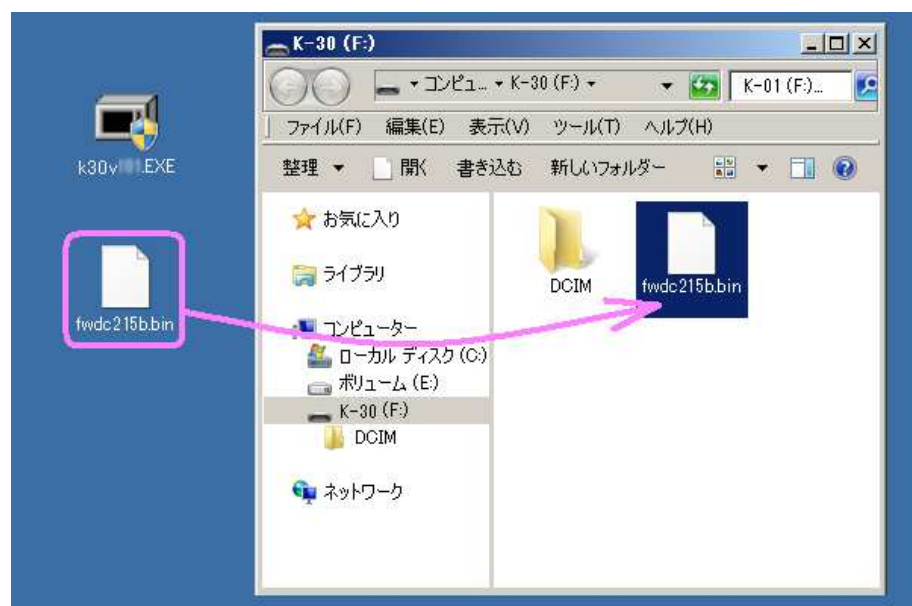


[7] マイコンピュータ内のリムーバブル記憶域があるデバイス内にディスク名「K-30」として認識します。
(図はディスクドライブ(F)の場合です。)



[8] ディスクドライブ「K-30」をダブルクリックして開きます。
K-30 でフォーマットした SD メモリーカードはディスクドライブ「K-30」として認識され「DCIM」フォルダが作成されています。
ディスクドライブ「K-30」を開いたところ、「DCIM」フォルダの隣に[5]で解凍した「fwdc215b.bin」ファイルを保存します。

ディスクドライブ「K-30」を開いたところ (ルートディレクトリ) 以外に「fwdc215b.bin」を保存しても、アップデートは実行されませんのでご注意ください。



[9] パソコンのカードスロットまたはカードリーダーから SD メモリーカードを取り外します。

SD メモリーカードをカメラに入れて USB ケーブルでパソコンと接続した場合は、必ず「安全な取り外し」を行ってください。(Windows® 8 / Windows® 7 / Windows® Vista / Windows® XP)

Windows® パソコンで Windows® 自己解凍形式ファイルが解凍できない場合は Zip 形式ファイルをダウンロードしても同様の事が行えます。

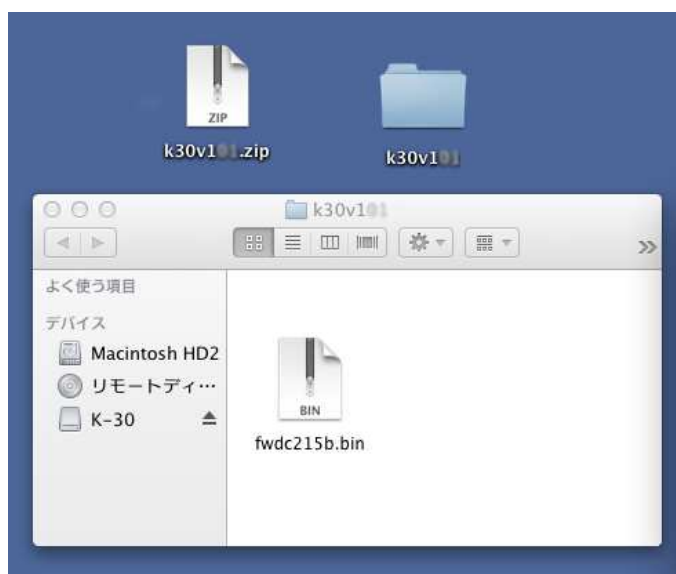
「ファームウェアをアップデートします」に進みます。

ファームウェアファイルをダウンロードして SD メモリーカードに保存します (Macintosh の場合)

(Zip 形式ファイルをダウンロード)

[1] リコーイメージングホームページからファームウェアファイル「k30v106.zip」をダウンロードします。

[2] ダウンロードしたファイル「k30v106.zip」をダブルクリックして解凍すると、「k30v106」フォルダができ、その中に「fwdc215b.bin」ファームウェアファイルができています。



[3] 次のいずれかの方法でパソコンとカードを接続します。
・SD メモリーカードをカメラに入れて USB ケーブル I-USB7 でパソコンと接続します。
・SD メモリーカードをパソコンの SD メモリーカードスロット、または USB 接続したカードリーダーに入れます。



[4] ディスクドライブ「K-30」をダブルクリックして開きます。

ディスクドライブ「K-30」を開いたところに [2]で解凍した「fwdc215b.bin」ファイルを保存します。



K-30 でフォーマットした SD メモリーカードはディスクドライブ「K-30」として認識されます。

ディスクドライブ「K-30」を開いたところ以外に「fwdc215b.bin」を保存しても、アップデートは実行されませんのでご注意ください。

ファームウェアをアップデートします

【ご注意】アップデートしたカメラを元のバージョンに戻すことはできません。

アップデート実行中にバッテリーの容量不足などによりカメラの電源が切れた場合、カメラが動作しなくなることがあります。その場合は保証期間内であっても有償修理となりますので、充分にご注意ください。

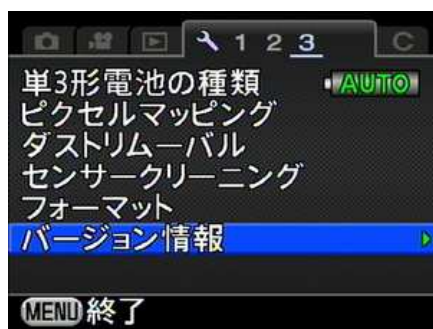
[1] カメラの電源が切れている状態で、ファームウェアファイルが入った SD メモリーカードを入れます。

[2] カメラの電源を入れます。

[3] MENU ボタンを押してメニューを表示します。

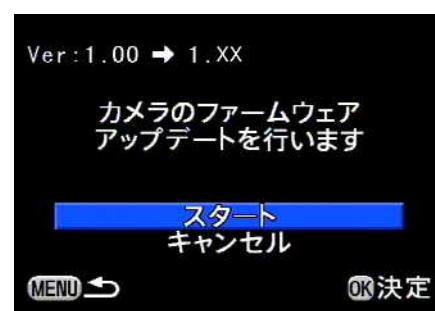
[4] 十字キー(▶)を繰り返し押しして「詳細設定 3」メニューを表示させます。

[5] 「詳細設定 3」メニューの「バージョン情報」を選び、十字キー(▶)を押します。「バージョン情報」画面に、カメラのファームウェアのバージョンが表示します。

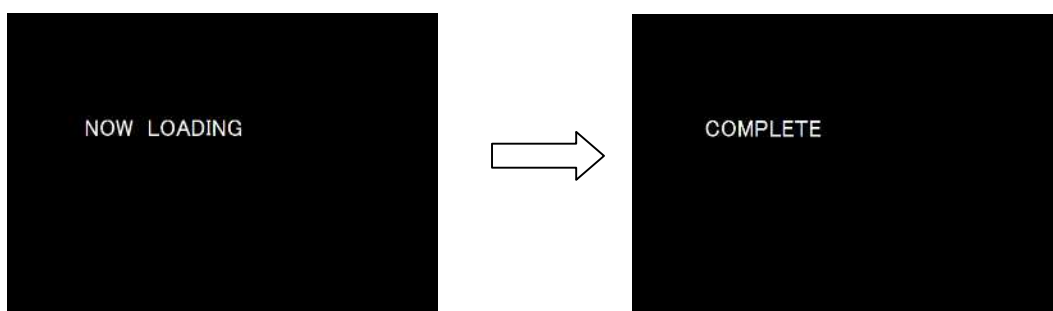


[6] 十字キー(▶)を押すとアップデート画面が表示しますので、十字キー(▲)を押して「スタート」を選択し、OK ボタンを押します。

SD メモリーカードにファームウェアファイルが正しく保存されていないとこの画面は表示しません。



[7] カードアクセスランプが点滅し、「NOW LOADING」 「COMPLETE」と表示が変わります。



アップデート中は絶対に電源を切らないでください。

[8] 5 秒ほどで電源が切れます。

[9] ファームウェアファイルが入った SD メモリーカードを取り出します。

上記[2] ~ [5]の手順でカメラのバージョン情報が[Ver:1.06]になっていることを確認します。

【ご注意】

・アップデートが終了した時点では、アップデート作業に使用した SD メモリーカードの中にファームウェアファイル「fwdc215b.bin」が残ったままになっています。

このSDメモリーカードを撮影に使用する場合、カメラでフォーマットを行い、ファームウェアファイルを消去してからお使いください。